

ねそ

白川郷荻町集落の自然環境を守る会 発行 平成26年 3月号

平成25年度守る会の活動を振り返って！！

平成25年度もあと半月を残すのみとなりました。3月11日の定例会において、本年度を振り返っての反省（成果と課題）を話し合いました。昨年4月当初に下記の活動スローガンの具現化を目指し、活動指針や計画を立て取り組みましたが、成果のあった活動、課題の残った活動等様々です。以下にその概要を記し、来年度につなげたいと考えています。 [○：成果 ●：課題]

守る会活動スローガン ～守る・くらす・つなぐ～

- ①守る：住民憲章を基盤とした、世界遺産である合掌家屋と農山村の景観保全
- ②くらす：結の精神が根ざした共同体と、景観に調和した豊かな住民生活の向上
- ③つなぐ：故郷から学び、国内外の交流から学び、未来への継承者を育成

①「守る」に関わって……

- 昨年同様、忙しい中でも委員の高い参加率の中で毎月の定例会を着実に実施でき、現状変更申請について適正な審議を行うことができた。また、申請者や施工者の深いご理解とご協力により、景観を崩すことのない現状変更につなげることができた。
- 平成26年4月からの集落内観光車両自主規制にむけ、荻町交通対策委員会を中心に話し合いを進めることができた。また、個人駐車場についても、廃止や自粛にむけご協力いただけた。
- 4月からの自主規制がしっかり機能しているかの見極めや継続観察を行うとともに、公安規制についての学習会や診療所移転にともなうバスステーション化の話し合いを継続していきたい。
- 農山村の景観に関わる取り組みとして、特定外来生物オオハングソウの除去作業に取り組めた。
- センガ岩倉庫の活用が定着してきた。また、トタン屋根塗装やオダシの助成も継続できた。



【オオハングソウの除去】

②「くらす」に関わって……

- 旧寺口家の結による屋根葺きが実施できた。2つの台風同時接近にともない開催が危ぶまれたが、日程を延ばし80名の住民、20名のトラスト・筑波大関係者のご支援ご協力をいただいで実施できた。参加いただいた住民の皆様、あとふきの準備や民謡で盛り上げていただいた女性会をはじめとする有志の皆様にご心より感謝。大変ではあるが結のよさをつなげていきたい。
- 「里山への杉等の植林による合掌家屋の維持管理への支障に関する問題」について、教育委員会が中心となり調査や対策が動き始めた。教育委員会に感謝し、守る会も協力して取り組みたい。



【旧寺口家の結による屋根葺き】

- 平成27年度に旧松井家の屋根葺きを予定している。同様に結での屋根葺き開催を目指し準備を進めたい。合掌家屋保存組合との連携もできてきたので、屋根葺き講習会の継続や結または現代結での屋根葺きが今後も継続できるようお願いしていきたい。

③「つなぐ」に関わって……

●夏に韓国河回村への訪問交流を予定していたが、国交悪化等の諸事情により実現がかなわなかった。守る会40周年に世界遺産姉妹提携をした大切なパートナーであり、交流が途切れないうようにつないでいきたい。

○三村交流会を再開できた。西村先生、妻籠宿の小林氏・藤原氏をゲストに、三集落の保存会や住民が集い意義ある時間を過ごすことができた。観光車両自主規制や今後の空き家問題、保存の三原則について意見交流ができた。

●三村交流会等住民の参加率をさらに高めたい。景観を保全していくには若者や女性の参画を高めていく必要がある。その手立てを。

●空家問題や後継者育成が今後の大きな問題となることが予想される中、保存の原則「売らない・貸さない」について住民間での話し合いを進めていく必要がある。また、村の企業誘致や6次産業化の動きに合わせ、地元企業や地元事業者が更なるレベルアップを図るための取り組みや話し合いが、行政・有識者・地元住民が一体となることができないだろうか。

※紙面の関係から全てを記載できていないことをお許しください。ご意見ご要望がありましたら、ぜひ役員へ！！ [文責:和田]



[三村交流会にて小林氏と対談]

セガ岩倉庫の夏期活用……

セガ岩倉庫の入れ替え時期が迫ってきました。使用料は昨年と変更ありません(右表)。※切は3月20日(木)まで。入れ替え日は4月6日(日)を予定。不明な点がありましたら一般環境部長武田聖司まで。[文責:武田]

[夏期セガ岩倉庫に保管可能な機械及び料金表]

保管機械・車両	夏期使用料(円)
・自家用車(普通車)	4,500
・軽自動車	3,000
・ペイローダー	3,000
・トラクター 大(18馬力以上)	3,000
・トラクター 小	1,500
・ハーベスター	1,500
・コンバイン	1,500
・除雪機	1,000
・耕耘機	900
・バインダー	500
・オートバイ(250cc以上)	1,500
・バックホウ	3,000
・田植機	1,500

山本幸吉氏を語る会……

3月5日公民館にて、同語る会実行委員会主催にて開催。柿崎先生をコーディネーターに、当時を知る住民や親族らがパネラーとしてお話しくださいました。戦後の獅子舞や民謡の保存継承、公民館建設運動、守る会の設立等、山本氏のお人柄や同氏をはじめとする諸先輩方の先見性と当時のご苦勞を垣間見ることができました。当日のお話は小冊子にまとめるそうですので、聞き逃した方はそちらをお楽しみに。 [文責:和田]

= 2月の活動報告 =

- 2月 7日 NHK『新日本風土記』白川郷放映
 - 2月 10日 2月定例会
 - 2月 11日 荻町交通対策委員会
 - 2月 11日 ねそ2月号配付
 - 2月 12日 現状変更申請に関わる現地調査(役員)
 - 2月 23日 BS朝日『空から見た世界遺産』白川郷放映
- [4月の定例会は10日(木)に開催を予定しています。]

= 区民の皆様へ =

建物や土地などの現状を変更する場合は許可が必要です。必ず現状変更申請をして下さい。申請書は守る会定例会の2週間前までに、各組委員に内容を説明の上、委員又は財団に提出して下さい。遺産の保全と未来への継承のため、皆様のご理解ご協力をお願いします。

☆3月の協議事項(現状変更申請に関わって)☆

- ***** 仮設丸太屋根の設置
- ***** 玄関建具の取替え
- ***** 自宅車庫シャッター取替え
- ***** 店舗屋外看板の建替え

※4月からの荻町交通対策実施についての文書が区長文書にて全村配付されますので、よくご覧ください。
 ※全伝協研修会(福井県若狭町熊川宿、5月22・23日)への参加者希望者を募ります(守る会各組委員へ)。